

2025年 第3回定例会 一般質問 から

録画配信は
こちら



1. 国民健康保険

国民健康保険税大幅値上げ せめて子どもの均等割軽減を

本田: 県内の国保税水準統一に向けて、国保税の均等割が2026年は加入しているだけで1人62,000円と大幅値上げとなるが、せめて子どもの分の免除などの軽減策は考えていないのか。

こども・健康部長: 国や県に対して軽減を要望しているが、市独自財源での軽減策については考えていない。

本田の視点

国保加入者は長時間働けない方、自営業の方などが多く、家計が苦しい世帯も多いにもかかわらず、大幅な負担増となります。これまで市は独自に約1億5,000万円を投入し、国保税の負担軽減を行ってきました。負担軽減をやめた後、この財源をどう使うのかわかっていません。今後も負担軽減を求めています。

2. 保育政策の課題

放課後児童クラブの障害者差別 指定管理を考え直す必要は

本田: 公設放課後児童クラブ職員が、障害児に追加指導員はつかない、自分のことを説明できないと不利になるなどと保護者に話したそうである。問題ではないか。指定管理事業者を社会福祉協議会以外も検討すべきでは。

こども健康部長: 差別や権利侵害を行わないことなどが守れないのであれば指定はできないことになる。いくつかの施設は公募にしたいと思っている。

本田の視点

以前から公設放課後児童クラブの問題について保護者の方からの声が寄せられています。民間クラブや他市のクラブでは、子どもの意志を尊重した、自由な保育が行われており、朝霞市のクラブも変えていきたいと考えています。



3. 福祉の機構改革

来年度から福祉は3部体制へ 複雑な困難を支えられるか

本田: 来年度から福祉部門が福祉部・健康部・こども部の3部体制となり、地域共生社会課ができる。その意義と複合的な相談の窓口はどの部署か。

福祉部長: 分野や制度を越えて誰一人取り残さない包括的な相談支援が進められるよう、複合的な相談を地域共生社会課が関係部署と連携する。

本田: 組織横断型の保健師の活動や人材育成を行う統括保健師の配置は。

こども健康部長: 健康づくり課に統括保健師を配置したいと考えている。

本田の視点

福祉部門が3部体制になり、特に高齢者福祉の関係部署が3つの部署に分かれます。相談をたらい回しにせず、複合的な課題にも対応できるか、仕事の引継ぎがしっかりできるか、注視していきます。

本田まきこ 議会報告会



日時 **11月16日(日)**
10:00~11:30

市政や暮らしの
お話をしましょう

場所 **仲町市民センター
ホール**

申込不要・出入り自由です

4. 給食配膳員の労働環境改善

熱中症の危険がある給食配膳員の労働環境改善を求める

本田: 給食配膳室を視察したが暑さが過酷。エアコンをつけるべきでは。

学校教育部長: 換気や配線の関係で今のところ難しい。

本田: 六小はエアコンを旧校舎につけた。具体的な熱中症対策を。業務が多いので、すべての配膳員を4時間雇用にすることは考えていないのか。

学校教育部長: 業務量を再確認したい。

本田の視点

この夏の暑さにもかかわらず、小中学校の給食配膳室はエアコンがなく、室温が40℃にもなる過酷な環境です。配膳員のみなさんは、子どもたちのために麺・パンの仕分け、重いコンテナの移動などを一生懸命行っています。具体的な熱中症対策と、重すぎる業務負担を軽減する人員配置を求めています。

5. 障害者の災害避難

障害のある人ともに避難所開設訓練を行うように求める

本田: 障害者との避難所開設訓練の実施を求めてきたが、配慮が必要な人が避難所に来たと無線連絡するだけの訓練でがっかりした。障害者の避難訓練が進まない状況をどのように認識しているのか。

危機管理監: 来年から新たに配慮する方への訓練についても少しずつ取り組みたい。

本田の視点

東日本大震災の時、障害のある人が避難所から門前払いされたり、避難所に行くことをあきらめて、自宅や車で孤立していたことが報告されています。朝霞市は障害者の災害避難の対応が進んでいないため、引き続き指摘していきます。

